有終南小学校見守り隊の一員として、将来ある子どもたちの安全確保のため、通学路に立っています。

昨年9月に設立した大野市全域の学童野球低学年チーム「オール大野ジュニア」の活動にも参画させていただいています。

福井県内45歳未満の市町議員による「ふくい若手議員の会」に所属し、勉強会などを通して意見交換しています。

※右記以外に会派会議を原則、毎週開催。会派代表者会議、議会運営委員会などに出席しているほか、各種会合、地域活動に参加しています。

林 よりかず活動記録

（令和元年7月～令和元年12月）

7月

22 日 ふくい若手議員の会（鯖江市）
29 日 議員全員協議会
《こころのよりどころ通信第１号発行》

8月

１日～2 日 議員研修（JIAM）
20 日～21 日 会派研修（厚労省ほか）
22 日 人口減少対策特別委員会
26 日 議員全員協議会
30 日 ふくい若手議員の会（福井市）
31 日 議員研修（大阪府）

9月

2 日 本会議（第 415 回定例会）
9 日～10 日 本会議
9 日 林よりかず一般質問
12 日 民生環境常任委員会
17 日 人口減少対策特別委員会
19 日 本会議、議員全員協議会

10月

7 日 大野・勝山地区広域議会（臨時会）
8 日～11 日、15 日 決算特別委員会
28 日 議員全員協議会
28 日 市町議員合同研修会（福井市）
29 日～30 日 人口減少対策特別委研修

11月

2 日 福井県、大野市消防総合訓練
2 日 ふくい若手議員の会（越前市）
8 日 決算特別委員会
11 日～13 日 会派研修（愛媛県ほか）
19 日～20 日 議会運営委員会研修
25 日 議員全員協議会

12月

2 日 本会議（第 416回定例会）
9 日～10 日 本会議
9 日 林よりかず一般質問
12 日 民生環境常任委員会
17 日 人口減少対策特別委員会
19 日 本会議、議員全員協議会
23 日 大野・勝山地区広域議会（定例会）
27 日 ふくい若手議員の会（福井市）

真心ある政治「こころのよりどころ」通信

発行
令和2年1月
（2020）

第2号

大野市議会議員　林よりかず活動報告

皆さん、こんにちは。大野市議会議員の林順和です。令和2年が始まりました。誇れるまち・大野のために、自らが学び、より良い大野市として将来へつないでいく。人と人のつながり、地域と地域のつながりを大切にしていく。行政運営に対するチェックと政策提言を行いながら、ともに動く政治家を目指して、日々活動しています。本年もよろしくお願いいたします。

前回、令和元年7月の「こころのよりどころ」通信第1号発行以降、「令和元年9月第415回大野市議会定例会」「令和元年10月大野・勝山地区広域行政事務組合議会臨時会」「令和元年12月第416回大野市議会定例会」「令和元年12月大野・勝山地区広域行政事務組合議会定例会」が開かれたほか、大野市決算特別委員会委員として平成30年度決算の審査なども行いました。

この「こころのよりどころ通信」を通して、なるべく分かりやすく伝えていきます。ぜひ、ご一読いただき、ご感想などいただければ幸いです。

（発行は不定期です）

会派 新風会・公明党
議会運営委員会
民生環境常任委員会
人口減少対策特別委員会 副委員長
大野・勝山地区広域行政事務組合議会 副議長

林 順和
Hayashi Yorikazu
昭和 52 年(1977)生まれ
中央大学卒、元市職員
現在 1 期目

「誇れるまち・大野」のために

① 人の育成に力を注ぎます
② 時代の変化への対応に力を注ぎます
③ 産業振興に力を注ぎます
④ 財政健全化に力を注ぎます

大野の魅力、発信中！ https://ameblo.jp/hysyrkz/
【連絡先】0779-65-0276　yori.tonchaan@gmail.com

発行責任者
林 順和

一般質問と回答

本会議の様子（動画）や議事録は大野市ホームページ「大野市議会」のページでご確認できます。

→QRコード読み取り

◎第五次大野市総合計画と将来像
総合計画は市の最上位計画であり、市政運営の指針としてだけでなく、市民や各種団体などが主体的にまちづくりに取り組む上での指針。現在の第五次計画は、令和２年度までの10年間を期間とし「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち」を将来像に掲げている。令和３年度から始まる第六次計画は現在、公募委員を含む審議会を設置し、人口減少対策や行政改革大綱など行政運営を含めた市の方向性を議論している。

◎結の故郷づくり交付金
地域づくり団体や自治会などが取り組む市民参加が見込める事業、地域住民の方が自ら地域の課題を解決する事業に対して財政支援するもの。市内９地区の公民館を単位とする各種団体連絡協議会、地域づくり団体などが応募できる。
問 大野市総務課地域振興室
（0779-64-4820）

市民と共に働く市行政を展開

将来像、大野市の姿

問 令和２年度は第五次大野市総合計画の最終年度として将来像実現に向けた施策の総仕上げと位置付けているが、市長の描く姿は。

答 中部縦貫自動車道の県内全線開通や北陸新幹線の敦賀開業という最大のチャンスを生かすため、変化する時代の中で、直面する課題に柔軟かつ適切に対応しながら、改めて市民と共に働く市行政を展開し、「みんなが大野を好きになる、未来へつなぐまちづくり」を推進していく。

市政の担い手として機運醸成

地域づくり、一緒に挑戦する仲間

問 地域づくり、まちづくりで大事なのは熱を持っている人の熱意を無くしてしまうこと。職員全員が意識を持って地域づくりに取り組む人への対応をお願いする。地域づくりの課題と取り組みは。

答 一番身近な自治会をはじめ、地域づくりに取り組む団体と連携しながら協働のまちづくりを進めてきている。担い手確保が課題と捉え、結の故郷づくり交付金により支援している。市政の担い手であるとの意識で市政に積極的に参加する機運を醸成することが重要。一緒に挑戦する仲間になっていただき、知恵を出し合い、創意工夫により地域の課題解決や地域の活性化に取り組んでいく。

魅力と回遊高め「稼ぐ力」向上

道の駅「越前おおの荒島の郷」、㈱平成大野屋

問「稼ぐ力」向上の課題と取り組みは。

答 本市を訪れる方々に魅力ある地域資源の情報を提供し、積極的に市内への誘客を図る拠点として、道の駅「越前おおの 荒島の郷」を、令和３年度早期の開駅に向け整備を進めている。
さまざまなプレイヤーが連携しながら回遊性の向上を図り、まち全体にチャンスを活かす機運を高めていくことや、市民や事業者の「やる気」をさらに引き出していくことが課題。

工事中の道の駅。奥は旧蕨生小

問 売り場づくりの方針は。

答 産直の会や指定管理予定者が中心となるが、福井県中小企業診断士協会の参画を得ながら、売り場デザイナーのプロを呼んで、産直の会の方などにアドバイスするなど、売り場づくりを推進していく。

問 まちなか観光拠点施設を運営する㈱平成大野屋が道の駅と市街地を結ぶ活動、事業者の連携を主導すべき。

答 回遊性高めることは大野市の命題である。㈱平成大野屋として道の駅でできること、まちなかや各地域へ誘導する手法を考えていく。

◎道の駅「越前おおの荒島の郷」
蕨生区に建設している新たな道の駅で、名称「越前おおの荒島の郷（さと）」は公募により決定。(1)越前おおのが育んだ食の市場、(2)モンベルと拓くアウトドアの拠点、(3)名水と城下町をはじめとする観光案内所、(4)大規模災害に備える防災拠点の機能を持つ。敷地面積49,137㎡、建物面積（延床面積）は5,082㎡あり、駐車台数は小型車169台、大型33台など。国内最大級のキャンピングユーザー向けRVパークや急速充電設備を設置。道の駅九頭竜の指定管理者（福井和泉リゾート㈱）と指定管理予定者（※）が共同で「大野市道の駅産直の会」を設立。
※指定管理予定者は中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社
（0779-66-1722）

◎株式会社平成大野屋
1999年（平成11年）に設立した第三セクター。出資金3000万円のうち、大野市が1550万円（51％）を出資、残りは市民等。大野市まちなか観光拠点施設や越前おおの結ステーションの管理運営を行っている。社長は大野市副市長が務めている。

関係人口創出・拡大へ

→８月16日、六間通り旧カドヤ書店で開かれた一夜限りの「地酒場大野人」。台風のため「おおの城まつり」は中止となりましたが、大野音頭の輪が広がるなど交流しました。

↓12月30日、東京在住の大野市出身者中心に組織する「東京 912」主催のゼロ次会忘年会がツイタチビルで開かれました。地元フードユニット「NISHOKU」によるケータリングとともに、「大野市」でつながる人たちの会話が弾んでいました。

議会の対応状況

本会議に上程された議案・陳情等の対応状況をお知らせします。

・乾側小の耐震対策について

（議案第74号 令和元年度大野市一般会計補正予算（第3号）案）

将来債務の限度額を設定する債務負担行為（現校舎解体、軽量鉄骨校舎の賃貸借）と校舎一部の耐震補強実施設計予算案について、未就学児を含む保護者の意向に沿っていないこと、小中学校再編計画の見直し中の建て替えに理解が得られないことから、関連予算を削除した修正案を賛成多数で可決しました。
（賛成13、反対2、退場2）

・市議会議員定数の削減について

（陳情4号 大野市議会の議員定数削減に関する陳情書）
（市会案第4号 大野市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例案）

令和元年6月定例会に出された大野市区長連合会からの陳情書は、9月定例会において「採択」として処理。その後、議会内部で協議した結果、12月定例会において市会案を提出。次の一般選挙から定数を現状の18人から「16人」に削減する市会案を賛成多数で可決しました。（賛成14、反対3）

編集後記

昨年2月の当選後、自分自身でできることを実践していくことが大切と感じ、登校時の見守り活動のほか、民間資格である「防災士」を取得。今後、自主防災組織への参画や自分の身を自らが守る取り組みの重要性を積極的に伝えながら、「地域の防災力」を高めていきたいと思っています。
災害時の初動対応は自助7、共助2、公助1といわれています。自分の命をまず守り、要配慮者などを助ける側に回れるよう平常時から家族や地域で対策を。
令和2年度は石山市政、大野市にとって大変重要な一年との答弁がありました。市民自らも「わがこと」として、自分のまちは自分たちで作っていく。将来を描いて一緒に取り組んでいきましょう。